

2025.9.6（土）開催 令和7年度 第2回 一般市民&専門職向け研修会 開催報告
（専門職向け）

さて、9月6日土曜日、午後2時から午後4時

まで、令和7年度第2回 飯塚記念病院 福岡県

認知症医療センター 一般 市民&専門職向け研修会



（専門職向け）を開催させていただきました。

大塚先生の講演の様子です。ズームによるオンライン上での講演でした。

今年度の研修会の年間テーマは、「認知症新時代～2025年からこれからの未来～」です。

今回は「診断後支援」をキーワードに、基調講演、参加者と講師との質疑応答、意見交換の時間を設定させて頂きました。講師は、一般社団法人 三豊・観音寺市医師会 三豊市立西香川病院の院長である、大塚智丈先生に『認知症の人の心を知り、その心を支える～診断後支援における心理的支援とピアサポート～』という演題で、ズーム上での講演、参加者と講師との質疑応答、意見交換を実施しました。

感想の一部をここで紹介させていただきます。アンケートにつきましたは対面参加者64名のうち、39名の方に回答を頂きました。この場をお借りして御礼申し上げます。

◆【参加者からの感想】

当事者と家族と医療がいいチームを作れたら、折り合いをつけて生活していけるんだなと思いました。
そこに他人事として無関心にならずに関わってくれる地域の意識が加わると心強くなる。

認知症だけでなく、育児にも、独居のお年寄りにも、全ての年齢の全ての人に繋がる事だと思いました。

「がんばって下さい」とキヨリをおかずに自分に何が出来るだろうと自分の在り方を考えて行動

していこうと思いました。ピアサポートは、当事者とその家族にとって、大きな支えになると思いました。

研修会参加者は対面での参加者が64名、ZOOMでの参加者が51名程度、合計115名の

参加者【1台のパソコンに複数名写っていた姿もあったので、人数はそれよりも超えている可能性あり】でした。当日は、対面にて研修会に参加して頂いた皆様、オンラインで参加して頂いた皆様、ありがとうございました。

それでは、皆様、次回第3回研修会は来年2月7日土曜日に開催させて頂き、演題：『認知症とコミュニケーション～家族や地域と穏やかな関係性を保つコツ～』という演題で、講師に群馬医療福祉大学リハビリテーション学部 副学部長・教授 山口智晴先生を飯塚の地にお招きする予定です。詳細は次回研修会のご案内を確認していただければ幸いです。

対面、オンライン上で、皆様方とお会いしましょう。

最後になりますが、大塚先生を始め、参加者の皆様、院内のスタッフ、システムエンジニアの方々、全ての皆様に感謝しています。次回は、飯塚の地で、再び大塚先生のお話を聞かせていただく機会が

出来ればと感じた次第でした。



質疑応答のやりとりの場面です。

←研修会の様子です。